

# Windows 10.5 コール ピックアップおよびハント グループ コール応答用に Jabber を設定する

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[コール ピックアップ グループを作成します](#)

[Jabber for Windows、ハント グループ コール応答を設定します](#)

[確認](#)

[コール ピックアップの動作の確認](#)

[ハント グループのコール応答動作の確認](#)

[トラブルシューティング](#)

## 概要

このドキュメントでは、Windows 10.5のコール ピックアップおよびハント グループ コール応答 Jabberに基本的な設定例を示します。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Windows 10.5 での Jabber
- Cisco Presence 8.6.4.12900-2
- Cisco Call Manager バージョン 8.6.4.23900-10

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的

な影響について確実に理解しておく必要があります。

## 設定

### コール ピックアップ グループを作成します

1. Call Manager Admin]ページに移動し、[コールルーティング ( Call Routing >コール ピックアップ グループ)を選択します。
2. [Add New] をクリックします。追加されたコール ピックアップ グループの例です。

**Status**  
Status: Ready

---

**Call Pickup Group Information**

Call Pickup Group Name\* test  
Call Pickup Group Number\* 4000  
Description  
Partition < None >

---

**Call Pickup Group Notification Settings**

Call Pickup Group Notification Policy Audio and Visual Alert  
Call Pickup Group Notification Timer (seconds)\* 6

---

**Call Information Display For Call Pickup Group Notification**

Calling Party Information  Called Party Information

3. このピックアップ グループ番号が参照として機能するJabberおよびすべての電話番号 ( DN ) にこのピックアップ グループを追加します。この状況でJabber CSFに1004の拡張があり、必要はDNページのピックアップ グループを追加します。詳細については、次のスクリーンショットを参照してください。

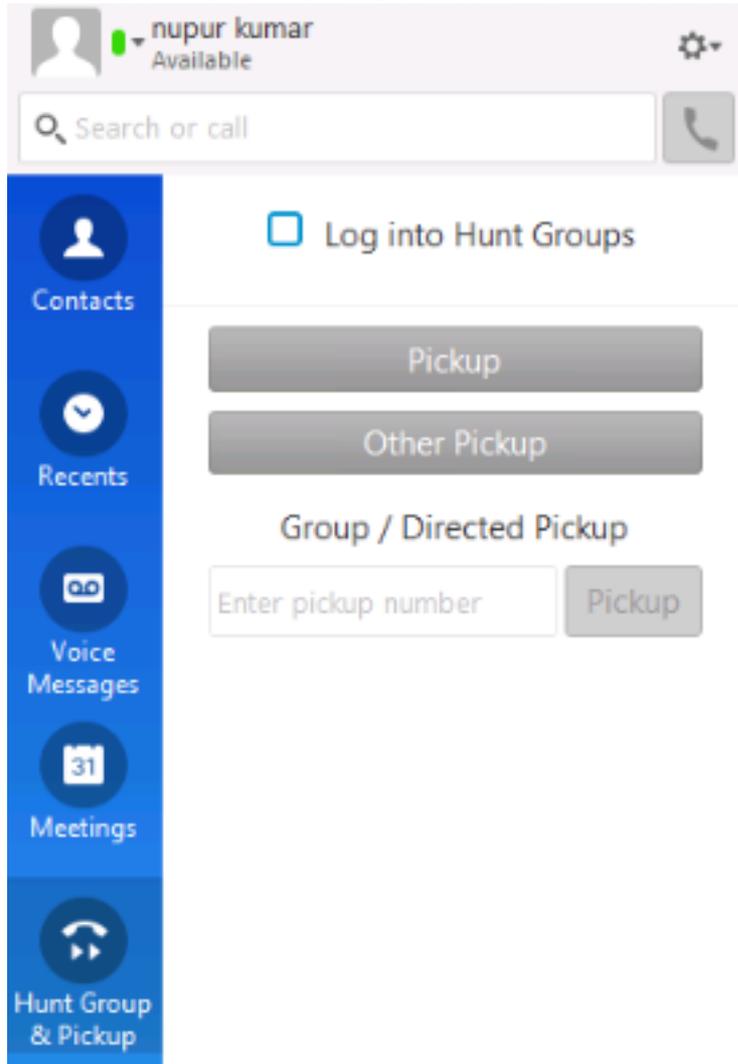
Forward on CTI Failure  or  
Forward Unregistered Internal  or  
Forward Unregistered External  or  
No Answer Ring Duration (seconds)  
Call Pickup Group test

4. 後、このピックアップ グループは他のDNに追加されていることを確認します。このテストケースでは、DN 1002のため、このDN 「1002」は、同じコール ピックアップ グループを追加します。
5. コール ピックアップのアイコンをJabber for Windowsで有効化されていることを確認するためにこのjabber-config.xmlの断片を追加:

```
<Policies>  
<EnableCallPickup>true</EnableCallPickup>  
<EnableGroupCallPickup>true</EnableGroupCallPickup>  
<EnableOtherGroupPickup>true</EnableOtherGroupPickup>  
<EnableHuntGroup>true</EnableHuntGroup>  
</Policies>
```

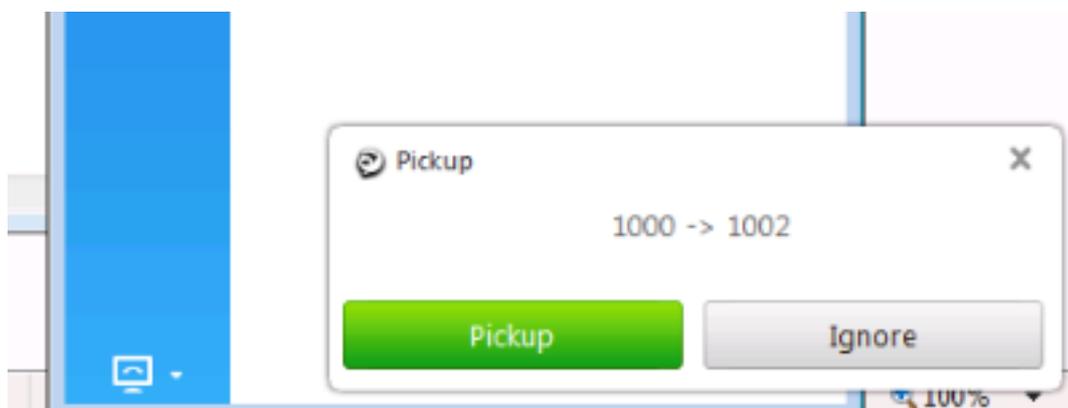
注：「ハントへのログを取得するにEnableHuntGroup 「」はグループ」オプションを追加

します。このケースでは必須ではなく、コールピックアップのためにWindows用に使用されるコールに回答しないように、のみハントグループメンバーJabber。一度Jabberはこれらの設定を、これについては、Jabber for Windowsでアクティブに見えるもの受け入れます



## Jabber for Windows、ハントグループコール応答を設定します

「ハントへのログをJabber for Windowsは、ハントグループメンバーコールに回答可能であることを確認するためにグループ」オプション ボタンをクリックします。これが設定されるとすぐに、Jabberのハントグループとピックアップのアイコンは、ハントグループとコールピックアップの応答モードを有効にする確認される緑ボタンが表示されます。



このテスト例ではセットアップものです:

- 回線グループメンバは ( 1004と1002 ) ( test1-の回線グループ名 )
- ハントリスト ( 名前 : test123 ) が含まれます。この回線グループ ( test1 ) を
- ハントグループパイロット ( 7000 )

他ではコールがWindows .csf拡張向けJabberに到達しません。を要約すると、コールがハントパイロットにおいて ( 7000 ) および「ハントへのログに」オプションが有効なグループ化することが確認されています。

## 確認

ここでは、設定が正常に機能しているかどうかを確認します。

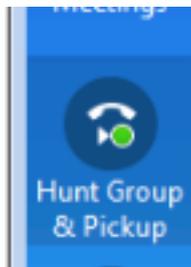
### コールピックアップの動作の確認

1002 ( ラボの内線7975の卓上電話機 ) と1004以降拡張が両方とも同じコールピックアップグループを指すときに呼び出すと ( Windows 1002は、CSF拡張のテストJabber ) Jabberがコールピックアップに同じコールピックアップグループを指させます。次に、Jabberが通知の受信方法です:

発信者番号 : 1,000

着信者番号 : 1002

コールピックアップグループ番号や名前:4000 ( テスト );1000および1002はこのコールピックアップグループの一部であるため、Jabberは次の画面キャプチャに示したコールピックアップグループのコールを受信します。



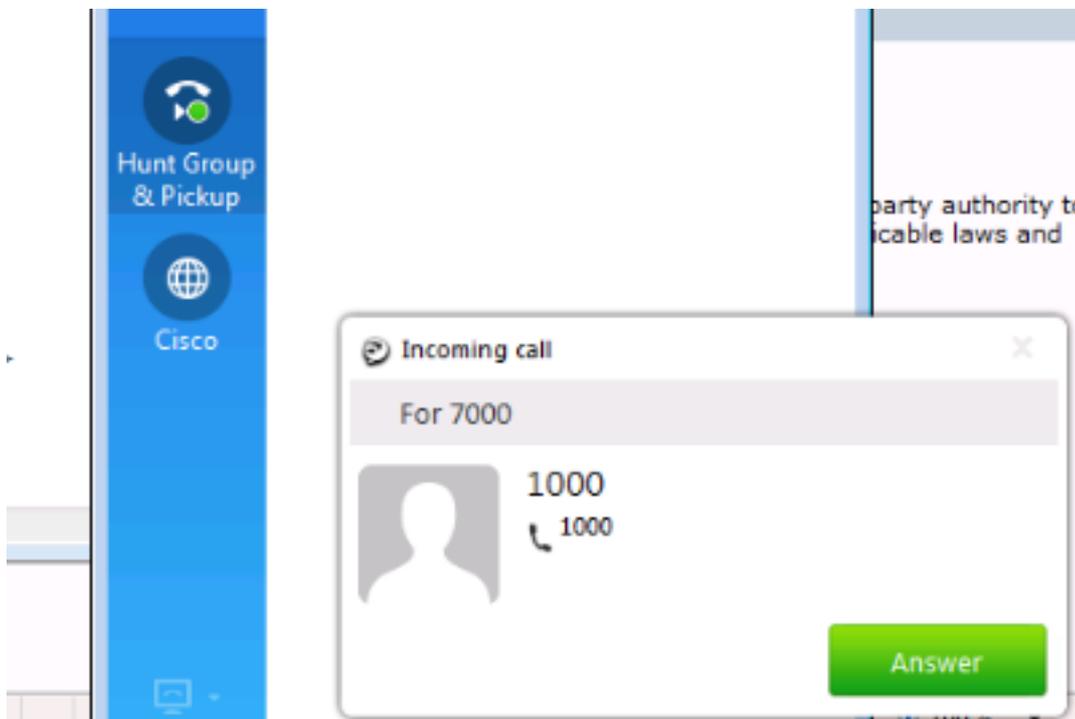
### ハントグループのコール応答動作の確認

Jabber for Windowsは回線グループの「Distributionアルゴリズム」によってコールを受信すると、その通知です。前述の通知につながるためのコールの詳細を次に示します:

発信者 : 1,000

受信者 : 7000 ( ハントパイロットパターン )

Jabber CSF ( 内線 : 1004 ) は、ハントリストを介してこのハントグループに接続する回線グループポイントのメンバーです



## トラブルシューティング

現在、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。